

令和 7 年度(2025 年度)用

中学校国語科書写用

「新編 新しい書写」 年間指導計画作成資料 【2年】

令和 7 年(2025 年) 1 月 29 日版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい書写」(第2学年)年間指導計画作成資料

月	単元名 <教材文字>・ 教科書ページ・用具 (他は他教科との関連)	単元の目標・ 学習指導要領との対 応「知識及び技能」	時数	学習活動例	観点別評価規準
3 読みやすく速く書く——行書②					
4 5 5	点画の省略 <桜色> p.46-47 [用具] 毛筆・鉛筆	◎点画の省略について、書くときの動きと省略の仕方を理解して書くことができる。 (3) ウ (ア)	3	① 行書の点画の省略の仕方について、楷書と比べたり、文字を指でなぞったりして考える。 ② 点画の省略の仕方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 点画の省略を、毛筆で書いて確かめる。 ④ 「書写のかぎ」を生かして、硬筆でほかの文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○行書の点画の省略について、書くときの動きと省略の仕方を理解して書いている。 【主】 ○進んで点画の省略について理解しようとし、「書写のかぎ」を意識して書いている。
5 5 6	筆順の変化 <若緑> p.48-49 [用具] 毛筆・鉛筆	◎筆順の変化について、書くときの動きと変化の仕方を理解して書くことができる。 (3) ウ (ア)	3	① 行書の筆順の変化について、楷書と比べたり、文字を指でなぞったりして考える。 ② 筆順の変化の仕方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 筆順の変化を、毛筆で書いて確かめる。 ④ 「書写のかぎ」を生かして、硬筆でほかの文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○行書の筆順の変化について、書くときの動きと変化の仕方を理解して書いている。 【主】 ○進んで筆順の変化について理解しようとし、「書写のかぎ」を意識して書いている。

6 5 7	行書と仮名の調和 〈豊かな自然〉 p.50-51 [用具] 毛筆・鉛筆	◎行書と平仮名の調和について理解して書くことができる。 (3) ウ (ア)	2	① 行書と楷書で書かれた例文を比べたり、指でなぞったりして、行書に平仮名を交えて調和させる方法を考える。 ② 行書と仮名の調和のさせ方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 行書と平仮名の調和を、毛筆で書いて確かめる。 ④ 「書写のかぎ」を生かして、硬筆でほかの文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○行書と平仮名を調和させるときに気をつけることを理解して書いている。 【主】 ○進んで行書と平仮名の調和について考えようとし、「書写のかぎ」を意識して書いている。
9	行書に調和する仮名 p.52-53 [用具] 毛筆・鉛筆	◎行書に調和する仮名の特徴を理解して書くことができる。 (3) ウ (ア)	2	① 行書に調和する平仮名の特徴について、楷書に調和する平仮名と比べて考える。 ② 行書に調和する平仮名の特徴を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 教科書の文字をなぞったり書いたりして、行書に調和する平仮名の特徴を確かめる。 ④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○行書に調和する仮名の特徴を理解して書いている。 【主】 ○進んで行書に調和する仮名の特徴を理解しようとし、「書写のかぎ」を意識して書いている。
10	文字の大きさと配列 〈草山に馬放ちけり秋の空〉 p.54-55 [用具] 小筆・鉛筆	◎行書での配列の整え方を理解して書くことができる。 (3) ウ (ア)	3	① 教科書の語句や文の配列を整える方法を考え、説明する。 ② 行書の配列の整え方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 小筆で書いて、文字の大きさや配列を確かめる。 ④ 「草山に……」の文を「書写のかぎ」を生かして、白い紙に鉛筆で書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○行書での配列の整え方を理解して書いている。 【主】 ○進んで行書での配列の整え方を理解しようとし、「書写のかぎ」を意識して書いている。

	行書のまとめ② p.56-57 [用具] 鉛筆・ペン	◎行書の点画の省略と筆順の変化、行書に調和する仮名、配列などを理解して書くことができる。 (3) ウ (ア)	適宜	① 行書の点画の省略を理解して確かめながら書く。 ② 行書の筆順の変化を理解して確かめながら書く。 ③ 行書に調和する仮名の書き方を理解して、確かめながら書く。 ④ 行書の配列の整え方を理解して、確かめながら書く。	【知・技】 ○行書の点画の省略と筆順の変化を理解して書いている。 ○行書に調和する仮名の書き方と配列の整え方を理解して書いている。 【主】 ○進んで学習したことを振り返ろうとし、点画の省略や筆順の変化などを意識して書いている。
	[文字といっしょに] 伝統的な用具・用材 p.58-59	◎伝統的な用具・用材について知り、文字文化への関心を高めることができる。 (3) ウ (ア) (イ)	適宜	① 筆・墨・硯・紙の生産地や作り方についての解説を読む。	【知・技】 ○伝統的な用具・用材について知り、文字文化への関心を高めている。 【主】 ○筆・墨・硯・紙に関心を持ち、進んで生産地や原料、製法などを知らうとしている。
11	[生活に広げよう] 本のポップを書こう p.60-61 [用具] 各種筆記具 他 国語	◎内容を効果的に伝える配列を考えて書くことができる。 (3) ウ (ア) (イ)	2	① ポップに書く内容を考える。 ② 内容を効果的に伝える工夫をして、下書きを作る。 ③ 下書きをもとにポップを作成する。 ④ 紹介したい本とポップを展示して、感想を伝え合う。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○目的に応じて楷書または行書を選び、配列を整えて書いている。 【思・判・表】 ○ポップを書くときに、書写で学んだことをどのように生かすかを考えている。 【主】 ○積極的にこれまで学習したことを生かし、内容が効果的に伝わるポップを書こうとしている。
4 楷書と行書を使い分ける					
12	楷書と行書の使い分け p.62-63 [用具] ペン・鉛筆	◎楷書と行書を使い分ける観点について理解することができる。 (3) ウ (イ)	1	① 具体的な場面をもとに、楷書と行書のどちらで書くのが適切かを考える。 ② 手紙を書く場面を想定し、楷書と行書のどちらで書いてみたいかを話し合う。 ③ 楷書と行書のそれぞれの特徴や使い分けのための観点について「書写のかぎ」で確認する。 ④ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○楷書と行書を使い分ける観点について理解している。 【主】 ○進んでさまざまな場面を想像し、楷書と行書を使い分ける観点を見つけようとしている。

12	【文字といっしょに】 書き初めをしよう 〈平和の祈り〉〈感謝する心〉〈信念を貫く〉〈最善を尽くす〉 p.64,93-96 【用具】 毛筆	◎ これまでに学習した楷書や行書の書き方を生かして、書き初めを書くことができる。 (3) ウ (ア)	1	① これまでに学習した「書写のかぎ」をどのように生かすか考える。 ② 書き初めを書く。 ③ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○ これまでに学習した楷書や行書の書き方を生かして、書き初めを書いている。 【主】 ○ 進んでこれまでに学習した「書写のかぎ」を生かし、課題を明確にして書こうとしている。
1 5 3	【生活に広げよう】 地域の活動に参加しよう——防災訓練 p.65-67 【用具】 各種筆記具 他 防災学習	◎ 書写で身につけた力を生活のさまざまな場面で生かすことができる。 (3) ウ (ア) (イ)	3	① 「防災訓練」という場面設定で、書写で学習したことをどのように生かすか話し合う。 ② それぞれの場面で活用する既習事項や書式の書き方を、実例を見て確認する。 ③ 実際の場面を想定して、場面に合わせた書式で書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○ 目的や必要に応じて楷書または行書を選んで書いている。 【思・判・表】 ○ 場面や目的に応じて書写で学習したことをどのように生かすか考えている。 【主】 ○ 積極的に書写で学習したことを生かし、目的や場面に合った文字を書こうとしている。
	【文字といっしょに】 筆記具の使い分け p.68	◎ 筆記具の種類や特徴を知り、目的に応じて使い分けすることができる。 (3) ウ (イ)	適宜	① 筆記具の種類と特徴を知り、目的に応じた使い分けについて考える。	【知・技】 ○ 筆記具の種類や特徴を知り、目的に応じた使い分け方を理解している。 【主】 ○ 進んで筆記具の種類や特徴を知ろうとし、使い分け方を考えようとしている。
	【文字といっしょに】 書いて味わおう 「枕草子」「走れメロス」 短歌 p.69 【用具】 鉛筆 他 国語	◎ 文学を書いて味わい、文字文化への関心を高めることができる。 (3) ウ (ア) (イ)	適宜	① 「枕草子」「走れメロス」の一節および短歌を書く。	【知・技】 ○ 文学を書いて味わい、文字文化への関心を高めている。 【主】 ○ 進んでなぞり書きや視写に取り組み、文学を書いて味わおうとしている。
	書写テストに挑戦！ p.70	◎ 楷書の書き方や行書の基本的な書き方を理解することができる。 (3) ウ (ア) (イ)	適宜	① 書写で学習する事項に関する問題を解く。	【知・技】 ○ 楷書の書き方や行書の基本的な書き方を理解している。 【主】 ○ 積極的に、書写で学んだ知識を生かそうとし、テスト問題に取り組んでいる。

書写活用ブック					
	さまざまな書式 (手紙、ポスター、フリップ、新聞、リーフレットほか) p.(2)-(14)	◎さまざまな場面にふさわしい書き方や、情報のまとめ方を理解することができる。	適宜	① 手紙、ポスター、フリップ、新聞、リーフレット、原稿用紙などの書き方について、解説を読む。	
	常用漢字表、人名用漢字表 p.(15)-(35)	◎常用漢字、人名用漢字の手書きの書き方を理解することができる。	適宜	① 常用漢字 2136 字・人名用漢字 863 字の楷書体と行書体を一覧する。	
	行書の部分の形 p.(36)-(37)	◎行書の部分の形の違いを理解することができる。	適宜	① 行書の特徴や、書くときの動きに注意して書く。	
	五十音表 (平仮名・片仮名) p.(38)-(39)	◎平仮名・片仮名の書き方を理解することができる。	適宜	①歴史的仮名遣いを含む平仮名 48 字・片仮名 48 字の楷書体と行書体を一覧する。	
	ノートの取り方・レポートの書き方 p.(40)-(41)	◎ノートやレポートのふさわしい書き方を理解することができる。	適宜	①見やすいノート、レポートの書き方を確認する。	